

# ①人権教育ファシリテーター養成講座

## ②人権教育推進状況調査

### 研 座 演 沙 資 映 他 体 ワ

香川県教育委員会  
香川県教育委員会事務局人権・同和教育課  
TEL 087-832-3780

実施年月日 実績等	① 人権教育ファシリテーター養成講座 第1回 平成16年11月9日(火) 参加者：18人 第2回 平成16年12月7日(火) 参加者：17人 第3回 平成17年1月19日(火) 参加者：15人 ② 人権教育推進状況調査報告書 平成17年3月 発行部数280冊
主催(共催)	香川県教育委員会人権・同和教育課
開催場所	香川県歴史博物館研修室
対象	① 人権教育ファシリテーター養成講座 人権・同和教育行政担当者及び社会教育関係者のうち、市町教育委員会から推薦を受けた者 ② 人権教育推進状況調査報告書 県内全市町教育委員会に配布
人権課題	人権全般

### 事業の目的

#### ①人権教育ファシリテーター養成講座

参加体験型人権学習の重要性に鑑み、文部科学省の委託で行われている「人権教育推進のための調査研究事業」の一環として、緊要な課題である県内における人権教育のためのファシリテーター(指導者)の養成講座を実施、社会教育における人権教育を推進することを目的とする。

具体的な講座のねらいには以下のものがある。

- ファシリテーターの役割と参加体験型人権学習について、体験を通して理解を深める。
- プログラムの流れを実際に体験し、人権について参加者独自の視点で問題意識を持ち、問題の解決方法やプログラムを考案していく「気づきから築きへ」とつなげる参加型の手法を理解する。
- 人権教育を通して達成したいことを確認し、課題達成に迫る参加体験型人権学習のプログラムを作成する。
- 研修で得られた成果と課題を共有し、今後それぞれの場で具体的にどう生かしていくかを考え持ち帰る。

#### ②人権教育推進状況調査報告書

同和問題をはじめ、様々な人権問題を解決するため、県や各

市町で行われている社会教育における人権教育について、具体的な実践事例等を取りまとめた資料を作成し、各市町の教育委員会に配布。各市町における人権・同和教育推進の一助とした。

### 事業概要

#### ①人権教育ファシリテーター養成講座

NPO法人NIED・国際理解教育センター代表理事の山中令子さんを講師に迎えて行われた。



アクティビティを体験



プログラムの洗い出し

#### 第1回「参加型で学ぶ人権～ファシリテーターの役割と参加型の理解～」

「オリエンテーション」「アイスブレイキング」「グローバルな優先課題は何だろう?」「三種のじゃんけんゲーム」など参加型アクティビティを通して、参加者同士が知り合い、現存する人権問題を認識し、課題を設定する。また、社会と教育の関係を振り返り、今後、参加型の人権教育が担う役割を考える。

#### 第2回「気づきと築きのアクティビティ～流れのある手法論～」

第1回を振りかえることに始まり、「ぜったい誰かのお膝に座っちゃうぞ!ゲーム」「多数派・少数派ゲーム」「私を豊かに生きさせてくれるものたち」「人権尊重社会を築くために私にできること」など多様な人権アクティビティを体験する。ゲームを体験し、振り返り、一般化(原理原則を見つける)し、応用する「経験学習の4段階」を学ぶ。

#### 第3回「未来を拓く参加型人権教育～課題に迫るプログラム作りと評価の指標～」

第1・2回を振りかえる。プログラムの作り方を学び、実際に作ってみる。「オリエンテーション」「アイスブレイキング」「プログラムづくりのポイント」「プログラムづくり」「プログラムの発表と評価」などが主な内容。

#### ②人権教育推進状況調査報告書

県内各市町における人権教育の推進状況について調査し、報告書を作成。調査項目は、人権教育推進上の課題、推進体制・組織、年間計画、取り組みの具体例、作成した資料、講演会講師等。

### 連携状況

#### ①人権教育ファシリテーター養成講座

「NPO法人NIED・国際理解教育センター」から指導者を招いた。

講座内容の記録とそれをもとにした報告書の編集にも「NPO法人NIED・国際理解教育センター」に協力いただいた。

#### ②人権教育推進状況調査報告書

県内の全市町に協力をあおぎ、人権教育の成果をまとめた。

### 特色・工夫した点

#### ①人権教育ファシリテーター養成講座

ファシリテーターとしての心構えについて学び合えるように、各回の最後に、参加者同士のフリートークや指導者への質問の時間を設定した。

#### ②人権教育推進状況調査報告書

県内全市町に対して実施し、その成果をまとめた。

### 実施結果

#### 参加者の反応・事業の反響等

##### ①人権教育ファシリテーター養成講座

大変好評で、参加体験型人権学習が効果的であることを、参加者自身が実感できたようであった。また、講座の終了後に各市町において、参加体験型人権学習のファシリテーターとして活動した者も数名いた。

##### 参加者の主な感想

- 今回の研修を基礎として、水準を高めた研修を受講したい
- 自治会単位での出前講座の中で、参加体験型人権学習を取り入れたい
- 盛りだくさんの内容であるため、回数を増やして、もう少しじっくりと指導してほしい
- アクティビティは実際にやってみないとわからないもので、もっと多くの内容を盛り込むことを望む

##### ②人権教育推進状況調査報告書

県内の人権教育推進状況を初めて系統的に調査したもので、講座の開催方法や講師情報について貴重な情報源となっている。

### 反省点・今後の課題

#### ①人権教育ファシリテーター養成講座

議会や台風被害の後片付けなどのために欠席する人もあり、毎回参加者数が変わってしまった。今講座を受講した人に対して、さらにステップアップした講座を設け、参加者が実際にファシリテーターとして活動できるような環境整備を進めていく。

#### ②人権教育推進状況調査報告書

担当者の実務において参考となる内容なので、発行部数をもう少し多くすべきだった。今後も数年おきに調査し報告書を作成していくようにする。



報告書「社会教育における人権教育の推進状況」